

平成29年12月10日

都中理冬季研修会参加者様

東京都中学校教育研究会
会 長 笹川 敏
東京都中学校理科教育研究会
会 長 花田 英樹
東京都中学校理科教育研究会
研修部長 遠藤 映悟

東京都中学校理科教育研究会冬季研修会のご案内（最終） （東京都教職員研修センター教育研究普及事業による認定研修会）

日頃より、本研究会の活動につきまして、ご理解とご協力をいただきまして感謝申し上げます。さて、このたび一般社団法人 葛西臨海・環境教育フォーラム様協力による「海のない地域における海洋教育に視点を当てた研修会」に参加申し込みいただきありがとうございます。下記のとおり実施いたします。当日に指定された会場までおいでください。

記

1 日 時 平成29年12月27日（水） 9：45～16：00

2 会 場 東京海洋大学品川キャンパス 2号館4F 学生実験室
〒108-8477 港区港南4-5-7 JR品川駅港南口より徒歩10分程度
越中島キャンパスと間違えないようお越しください。

（越中島は旧東京商船大学。今回実施する品川キャンパスは旧東京水産大学となります）

3 プログラム（講師の先生の敬称は省略させていただきました）

講座名	時 程	内 容（予定）
開講式	9：45～9：55	挨拶・事務連絡
講座1	10：00～12：00	「ちりめんモンスターをさがせ」 チリメンジャコに海中の様々な生物が混ざった商品を使いその中の生物を同定する。 海には様々な種類の生きものがいて、私たちの生活主に食生活を支えていること理解し、もって直接的につながっていない生きものと自分の関係を理解することを目的とした実験。 講師 風呂田利夫 （東邦大学名誉教授・元日本ベントス学会会長）
昼休憩	12：00～13：00	午後も受講の方は、弁当等をご持参ください
講座2 「生物」	13：15～15：45	「海水と淡水のプランクトン観察」 海洋生物の代表として海洋プランクトンを実際に採集し（予定）観察する。同時に海とは離れた場所でも採集可能な淡水プランクトンと、水処理センターの活性汚泥中のバクテリアを観察し、海と川の関係、さらに私たちの生活排水と川の間関係を具体的に学ぶ実験。 なお、海洋プランクトンは会場である海洋大学内のポンドから直接採集が可能であり、また活性汚泥は近隣の芝浦水再生センターから譲渡していただき実施。 講師 石丸隆 （東京海洋大学名誉教授・現特任教授・元日本プランクトン学会会長）
閉講式	15：45～15：55	アンケート記入・事務連絡

**当日は印鑑を持参してください。研修出張となります。
また、白衣や筆記具・カメラ等各自でご持参ください。**

会場案内

都中理冬季研修会の会場は、以下の通りです。よろしくお願いします。

東京海洋大学 2号館4F 学生館実験室
〒108-8477 東京都港区港南4-5-7

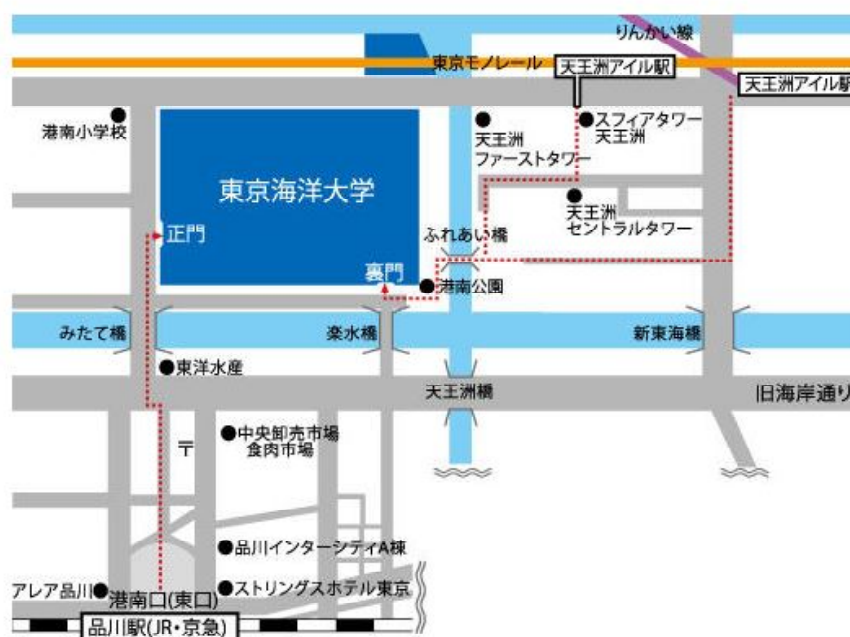
- ☆ JR線・京浜急行線 品川駅港南口(東口)から徒歩約10分
- ☆ 東京モノレール天王洲アイル駅から「ふれあい橋」を渡り正門まで約15分
- ☆ りんかい線天王洲アイル駅から「ふれあい橋」を渡り正門まで約20分

下の地図をご参照ください

○ 品川キャンパス(海洋生命科学部・海洋資源環境学部)

〒108-8477 東京都港区港南4-5-7

TEL:03-5463-0400(代表)



品川キャンパス



この図の⑧が2号館です。

4階は廊下1本で、実験室は階段を上がってすぐ、エレベータ前です。